



威勢よく初競り

日本有数のアジ・サバの水揚げ量を誇る松浦魚市場で1月6日、今年初の取り引きとなる初競りが行われました。

この日は、約60トンが入荷。午前5時の1番競りから競り人と仲買人の大漁と商売繁盛を願う威勢のよい掛け声が響きわたり、水揚げされた新鮮なアジやサバなどが次々と競り落とされました。



出初式で防火・防災をPR

松浦市消防団（鬼橋良一団長）の消防出初式が1月7日、文化会館などで開催されました。

式には市内の消防団員など約650人が参加。新入団員の辞令交付や、永年勤続者・消防協力者の表彰などが行われました。

式後、中央公園から庄野橋までパレードした後、消防車両14台で一斉放水し、今年1年の防火・防災を市民にPRしました。

今福少年ソフトが今福神社を清掃

今福少年ソフトボールクラブのメンバーが12月27日、今福神社の境内の清掃を行いました。

同クラブは、毎年初めに同神社に必勝安全祈願に訪れており、そのお礼の気持ちを込めて、氏子たちが多く訪れる時期の前に清掃を行っています。

4回目となるこの日は、同クラブの小学2年から6年生までの22人が竹ぼうきやくまでを使って、約1時間かけて落ち葉などを集めました。



住商エアバッグ・システムズが中央公園などを清掃

住商エアバッグ・システムズ（安東武男社長）が12月26日、中央公園（志佐町）の清掃や商店街周辺のごみ拾いを行いました。

同社の地元への貢献活動の一環として、これまで5月の連休前、盆前、年末の年3回実施してきた事業所周辺の清掃を、昨年からの外部の公園などでも実施することにしたものです。

この日は、社員約30人が竹ぼうきなどを使って公園内の落ち葉を集め、火バサミなどを使って道路に落ちている紙くずなどを集めました。



決意を新たに演武を披露 —松浦市武道始め式—

平成21年松浦市武道始め式が1月12日、市立武道館で開催されました。

この武道始め式は、武道の繁栄と青少年の健全育成、新春の決意を新たにすることを目的に、昨年からの行われているものです。

式には、剣道・なぎなた・少林寺拳法・柔道・空手道の競技者、約70人が参加。各競技ごとに演武を披露し、集まった保護者などから拍手が送られていました。また、式後には、保護者などが作った温かいぜんざいが振る舞われました。



とき

vol.37

旬の人

子どもの健やかな
成長のために
本の読み聞かせ

「おはなしの会ポケット」



▲クリスマス会で目を輝かせて本の読み聞かせに聞き入っている子どもたちの様子。



ボランティアで本の読み聞かせを行っているグループ「おはなしの会ポケット」（三木和枝会長）が12月21日、きらきら21で「ポケットのクリスマス会」を開催しました。

同会は、「子どもたちが本に親しみ感性豊かに育ってほしい」と願い、平成10年4月に発足。現在15人の会員が、市立図書館のおはなしのへやで毎月第4土曜日に、子どもたちを対象とした本の読み聞かせを行っています。また、毎年「ポケットのクリスマス会」を開催したり、松浦水軍まつりの際に「カフェ・ポケット」を出店したりしています。「カフェ・ポケット」では、コーヒー・不用品・古本などのバザーを行い、収益金全額を市立図書館の図書購入費に寄附しています。

毎年恒例となっているクリスマス会には、市内の子どもと保護者など約170人が参加。「ぐりとぐらのいちねんかん」の読み聞かせや、ブラックパネルシアター、マジックショーなどを行い、楽しいひとときを過ごしました。

三木会長は「読み聞かせやお話をするときには、親子や子どもたち同士が、みんなで楽しい時間を共有し合ううれしさ、生の声で伝わる温かさを感じてもらえることを大切にしています。仕事を持つメンバーが多いので、なかなか練習などの時間がとれず苦労していますが、参加してくれた子どもたちが『おもしろかった！』『また見たい！』と言ってくれるたびにやりがいを感じています。子どもたちが本に興味を持ち、健やかに成長してくれることを願って、無理をせずに長く続けていきたいと思っています。そして、お話し会を聞きに来てくれた子どもたちの中に、大きくなって読み聞かせやお話し会をやってみようと思う子どもたちが一人でもいてくれたらいいなと思っています」と話していました。